



2013年1月18日

マツダ株式会社
フィアット グループ オートモービルズ

マツダとフィアット、アルファ ロメオ車の生産に向けた 事業契約を締結

マツダ株式会社(以下、マツダ)とフィアット グループ オートモービルズ(以下、フィアット)は、2012年5月23日に合同発表した協業に関して、本日、正式に事業契約を締結したことを発表しました。これに伴い、マツダは2015年よりフィアット傘下のアルファ ロメオ向けオープン2シータースポーツカーをマツダの本社工場で生産します。

アルファ ロメオ向けの新商品は、グローバル市場をターゲットとして、次期「マツダ ロードスター(海外名:Mazda MX-5)」のアーキテクチャをベースに開発されます。この合意によりマツダとフィアットは独自のデザインでそれぞれのブランドを代表するFRアーキテクチャの2シーターオープンカーを導入することになります。また、それぞれの商品は独自のエンジンを搭載します。

この契約締結により、マツダは、オープン 2 シータースポーツカーの開発および生産効率の向上を目指します。また、フィアットとの協業により、このセグメントの活性化への貢献も期待しています。フィアットは、この協力関係によって伝統あるアルファ ロメオの2シーターオープンカーに最新技術を通じてモダンなテイストを吹き込んだ商品を提供できるようになり、同ブランドがすでに公表している2016年の目標達成を促進できるようになります。

以 上